

伝統の オメガを守る。

大正末期に造られたオメガ。熱意ある方々に支えられ、幾度もの修復を経て約100年にわたり野尻湖に在り続けています。

野尻が生んだ船に生きる人 雨宮伊作氏

航海訓練所教官、帆船乗船を経て海王丸の船長に就任、現在、東京湾一級水先人として活躍する雨宮伊作氏。彼は東京YMCAの「オメガ」が野尻湖では最も高いマストを持つヨットであると知り、大きな帆船に乗りたいと夢見たという。野尻湖と共に育った雨宮氏について、水先人の非常に重要な役割と大きな責任と共に綴られている。

東洋英和女学院/東洋英和楓の会
楓園 ISSUE 91より

東洋英和楓の会
Kaede People

野尻が生んだ船に生きる人
雨宮伊作



1927年山形県生まれ。子どもの頃から、母の兄で海軍少佐の雨宮伊作氏に憧れ、海軍学校（現海軍大学校）に入校。卒業後、海軍少佐として勤務。その後、東京YMCAの帆船部に参加し、野尻湖でヨットを始める。現在は東京湾一級水先人として活躍中。著書『オメガの物語』がある。



ISSUE 2021 1/31 VOL. 91 21



90年を経て再度よみがえる「オメガ」

東京湾一級水先人の雨宮伊作氏、東洋英和女学院および野尻学荘クラブ関係者の多大なるご協力を得て2014-15年に実施された、大型修繕の様子が綴られている。マストとブームのニスの塗り替え、極度の腐食と摩耗のためティラーとラダーの新調の様子、その非常に困難であった道のりが記されている。

舟艇技法 (Boat Engineering) No.123 より

水泡が浮かんだ船艇

2023年、船艇に多くの水泡があることが判明。修繕費用は150万円を超えることとなった。



オメガ修繕募金

後世に残していくために。

募金用途：船艇防水加工作業費用

目標募金額：100万円 募金期間：2024年9月末まで

お振込先：三菱UFJ銀行 神田支店 (331) (普) 1202091 公益財団法人東京YMCA

※お名前の後に「オメガ」とご入力ください。

お問い合わせ：東京YMCA野外教育センター Tel 03-3202-0323 Mail camp@tokyoymca.org

※公益財団法人東京YMCAへの寄付金は、所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置が受けられます。

領収書をご希望の方は、野外教育センターまでご連絡ください。